

ドレミファそらまめ祭 盛況 ～新一年生が食育体験も～

6月8日（金）から10日（日）にかけて、道の駅村田を会場に「ドレミファそらまめ祭」が開催された。採れたてで新鮮なおいしいそらまめを求め、県内外を問わず、多くの方々が村田町に集まった。

町では、代表的な地元食材のそらまめへの興味・関心を高めることを目的として、毎年ドレ



ミファそらまめ祭の時期に、町内2つの小学校で新1年生がそらまめのむき豆（さやから外したもの）から薄皮をむく体験学習を行う。そのそらまめは、翌日の給食に「そらまめグラタン」として提供することで、子どもたちへの食育につながっている。

一方、そらまめを初めて触る子や薄皮をむくのが初めてという子も多い。村田小学校一年生の平岡瑚都さんは「おとうさん指（親指）

がとても痛くなったけど、楽しくむくことができた」と、苦勞した様子だったが、クラスメートと一緒に丁寧に、そして楽しくむいていた姿が印象的だった。

翌日、そのそらまめを使った「そらまめグラタン」が給食に登場。新1年生は、前日に自分達でむいたそらまめを大切に感じながら、おいしく食べている様子が伺えた。



【記事提供：村田町農業委員会】